



Noguchi Times

NOGUCHI INTERNATIONAL BUSINESS CONFERENCE NEWS Vol. 12 2016.3.24



米国財団法人野口医学研究所 評議員 蓮見賢一郎

CONTENTS

■ご挨拶		p2
■第22回NIBC開催内容報告		p3
■日本歯科大学からの感謝状贈呈式		p4
■浅野嘉久誕生祝賀会 & 特別講演会		p5
■医学交流活動 -管理栄養士研修報告-		p6
■賛助会員のご紹介		p7
■野口記念インターナショナル画像診断クリニックのご案内		p7

ご挨拶

お取引先様へ



参与会主宰の「野口国際ビジネス交流会」は、お蔭様で本日23回目を迎えることが出来ました。この交流会は、皆様にビジネスチャンスを広げて頂くことを主な目的としており、「新たな取引が開始できました」という声が回を重ねるごとに増えて来たことを大変喜ばしく思っております。今後も交流会の企画・運営に工夫を凝らし、皆様に、「毎回足を運ぶ価値のある交流会」と認めて頂ける様、参与会一同、力を合わせて参ります。

野口医学研究所は1983年に現名誉理事である浅野嘉久が設立して以来、既に1,100名を超える医療従事者の米国留学を支援してきました。その目的は単に最先端の医療技術を学ぶということに留まらず、患者様に医療を施すとはどういうことか、患者様やその家族の気持ちに寄り添うとはどういうことか、又、医師・医療従事者とはどうあるべきか等々を考え、継承して行くことにあります。33年間に及ぶ活動の結果、一定の成果は収めることが出来たと自負していますが、「野口」の理念が社会に十分浸透したとは言いきれず、この活動を今後50年、100年と続けていくことこそが、「野口」に身を置く者としての責務と自覚しております。

「野口」はこれまで一切寄付に頼らず独自の収益事業に依って運営して来ましたが、「野口」の国際医学交流&教育は常に公平・公正であり、その活動が非常にユニークなものであるとの評価を頂いてきたのは、収益事業と社会貢献活動が表裏一体となっており、どこからも圧力や介入を受けることなく存続して来たからに他なりません。一方で主宰する全てのセミナーは勿論のこと、定期理事会までも公開を原則とし、独善的な思考、運営に陥ることを戒めて参りました。これは、創立者の浅野が、社会に頼らずも常に社会と共にあることを第一義としてきたことの証であると考えています。

最後になりましたが、「野口」の活動を継続する為には、お取引先である皆様との良好な関係が不可欠です。今後とも、「野口」の活動をご理解頂きつつ、ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

米国財団法人野口医学研究所
参与会会長代行 末永 佳文



第22回NIBC開催内容報告

(NIBC : Noguchi International Business Conference)

2016年1月22日(木)

於：野口医学研究所 9階会議室

『オペラって何の役に立つの?』

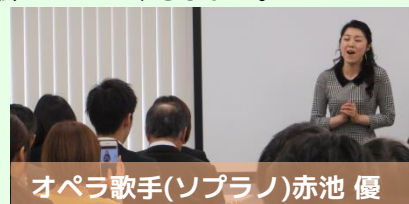
オペラに興味がある人は?と尋ねると比較的多くの方が「興味あり」と答えます。ただ、理由を聞くと、ミュージカル『オペラ座の怪人』の影響による処が大きい様で、実際に真のオペラを知る人は少ないのが現状です。これは、オペラ歌手である私としては非常に寂しいことであり、是非多くの方に本当のオペラの魅力を知って頂きたいと願っています。

オペラには、文字に表すことのできない奥深い背景やストーリーが隠されています。これらは歌と演技を中心とする舞台上で表現されますが、ストーリーを知らないとその場で理解することは難しいものです。オペラを存分に楽しんで頂くために、リブレット(オペラの台本)を予めしっかりと読み、ストーリーを把握してから舞台鑑賞することを私は強くお勧めします。

オペラの魅力は、善や悪に関係なく人間そのものの表現ができるところにあります。例え引っ込み思案な方でも、オペラを通じて、大きな声で気持ちを表現する喜びを知ることができれば、その方にとって明るい世界が広がっていくでしょう。

私はオペラに関するワークショップ等を行い、少しでも多くの方を元気にし、明るい未来作りに貢献できればと考えています。

オペラ歌手(バス)
演出家
小鉄 和広



オペラ歌手(ソプラノ)赤池 優

『21世紀の医療 -家庭医をどう育て、どう活かすかにかかっている!-』

私は長年家庭医療専門医として家族各々のライフステージに寄り添いながら生涯に亘る医療を米国で提供してきました。米国ではこういった「世帯単位」で診察する家庭医が定着していますが、日本はまだまだ遅れをとっており、ようやく30年前の米国に追いついてきたところで、今後の発展が望まれています。

現在日本で家庭医療に期待されていることは、国の医療費削減です。厚生労働省は、新たな総合診療専門医資格の設置と、大病院での保険診療費を削減する為の外来診療報酬包括制度、その他の導入を始めています。しかし、経済効率以上に重要なのは、国民が質の高い医療を身近な家庭医の元で享受できることです。

21世紀の家庭医療には、様々な医療問題を高い質で診られる専門医が必要です。それには、現存する開業医が勤務医よりも高い信頼を得ること、また家庭医療・総合診療専門医が各地域に定着できるようにハード(グループ医療診療所・家庭医養成施設・マネジメント・公的予算)とソフト(地方自治体との協力・総合診療専門医・指導医の誘致・研修基幹病院の確保・総合診療看護師・薬剤師の養成)を整えることが大切です。

米国財団法人野口医学研究所 理事長
NPO野口医学研究所 常務理事
徳洲会地域家庭医療総合センター センター長

佐野 潔

日本歯科大学からの感謝状贈呈式

2016年2月24日（水） 於：日本歯科大学 九段ホール

野口医学研究所は、多くの医療人や科学者達の将来への夢と希望、そして期待を込め、様々な形で助成を行っています。その支援先の一つが日本歯科大学です。この度、日本歯科大学より、米国財団法人野口医学研究所創立者・名誉理事の浅野嘉久へこれまでの貢献に対する感謝が示され、感謝状贈呈式が執り行われました。



日本歯科大学 法人事務局長
高橋 慎一様



感謝状贈呈式の後には、生命歯学部 部長主宰による
歯科医学講演会が催されました。

トーマスジェファーソン大学医学校副校長&医学
部長代理のDr. Charles A. Pohlは『Humanity-Based
Education（人間性を重視した医学教育）』と題
し、質が高く、思いやりのある医療を提供するた
めの人間性教育について、多くのArtを例に挙げ
てレクチャーを行いました。

日本歯科大学の在学生と教職員を中心とした約
100名の参加者は、英語で質問を投げかけるなど
皆熱心に耳を傾けていました。



Dr. Charles A. Pohl

浅野嘉久誕生祝賀会 & 特別講演会

2016年2月25日（木） 於：学士会館 210号室

2016年2月25日、『Humanity & Empathy in Medicine』をテーマとし、浅野嘉久誕生祝賀会及び特別講演会を実施しました。

このイベントは、医者と医療にはHumanityとEmpathy、つまり、“医療の場に於ける医者（医師、看護師及びその他の医療人）と患者の共感と心の交流”が求められ、それを理解・納得出来る者こそが望まれているのだという野口医学研究所の基本理念に基づいて実現に至ったものです。

乾杯とイントロダクション

■Dr. Joseph S. Gonnella

（トーマスジェファソン大学元副学長 名誉医学部長）

“The Science and Art of Medicine”

Science

Knowledge
(知識)

Know-how
(ノウハウ)

Technique
(技術)

Art

Humanity
(思いやり、人間味)

Empathy
(共感)

基調講演

■Dr. Mohammadreza Hojat

（トーマスジェファソン大学Humanity & Empathy専門教授）

“Empathy in Health Professions Education and patient Care”

■Dr. Charles A. Pohl

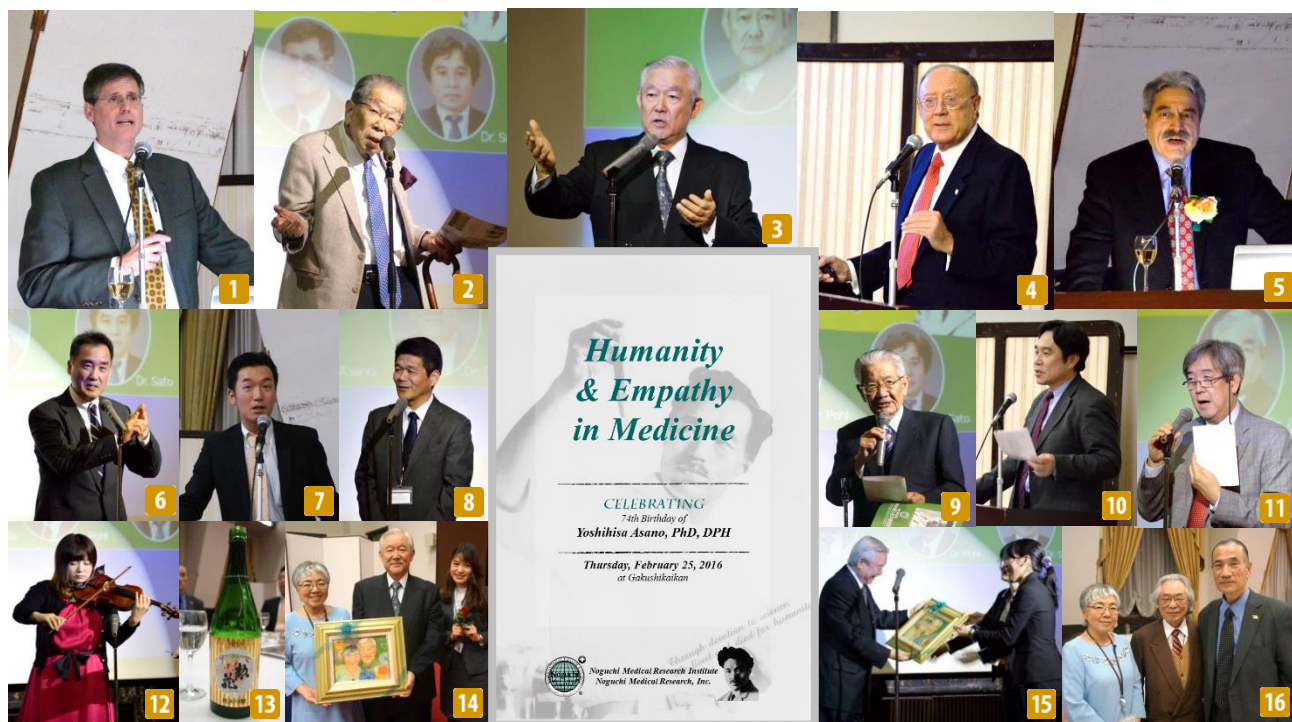
（トーマスジェファソン大学医学校副校長&医学部長代理）

“The Role of Humanity-Based Education in The Medical School Curriculum”

コメント

■日野原 重明先生（聖路加国際病院名誉院長）

■高久 史磨先生（日本医学会長）



①Dr. Charles A. Pohl ②日野原 重明先生 ③浅野 嘉久 ④Dr. Joseph S. Gonnella ⑤Dr. Mohammadreza Hojat ⑥羽村 章先生
⑦堤 大造（一般社団法人野口医学研究所 代表理事代行） ⑧末永 佳文（米国財団法人野口医学研究所 参与会会長代行） ⑨高久 史磨先生
⑩佐藤 隆美先生（米国財団法人野口医学研究所 評議員、トーマスジェファソン大学 腫瘍内科教授） ⑪佐野 潔先生（米国財団法人野口医学研究所 理事長） ⑫加藤 菜々子さん（バイオリン奏者） ⑬日本盛様からご提供頂いた日本酒『惣花』 ⑭鈴木 真奈（一般社団法人野口医学研究所 社員）、三宅 香連（記念品制作者、一般社団法人野口医学研究所 営業部） ⑮記念品贈呈
⑯阿部 博幸先生（米国財団法人野口医学研究所 評議員、医療法人博心厚生会 理事長）、澤田 崇志（米国財団法人野口医学研究所 評議員会副会長）
出席者 計 78 名

医学交流活動

-管理栄養士研修報告-

2016年2月8日（月）～2月12日（金）

於: Thomas Jefferson University(TJU) , Thomas Jefferson University Hospital(TJUH) ,
Methodist Hospital, Magee Rehabilitation, Drexel University,
The Children's Hospital of Philadelphia(CHOP), Cathedral Village, その他

一般社団法人野口医学研究所の収益金の一部は、米国財団法人野口医学研究所を通じて、国際医学交流に使われています。2月8日から5日間に亘り、管理栄養士を対象とした米国臨床研修(RD研修)を実施しましたので、概要と研修生の感想をご紹介します。

Thomas Jefferson University Hospital



(前列左) 女子栄養大学栄養クリニック: 富士原 伴子
(前列中央) 女子栄養大学栄養クリニック: 蒲池 桂子
(後列右) 野口医学研究所: ステロラ スンヨビ
(後列中央) 神戸ポートアイランド病院: 浅利 知子

Dietitians Training Schedule

	Orientation Session Tour of Simulation Center at TJU Tour of Patient Flow Management Center/ Heliport
1 日 目	Overview of RD Curriculum at Drexel University Overview of Nutrition Department at CHOP Formula Room and Food Service Tour at CHOP
2 日 目	Roles of Clinical Dietitian at TJUH Food Service Tour and Overview at TJUH Lecture: Diabetes Education in US Lecture: Weight Management and Endocrinology
3 日 目	Roles of Clinical Dietitian at Methodist Hospital Food Service Tour and Overview at Methodist Hospital Lecture: US Health Care and System Field Work: Local Supermarket
4 日 目	Roles of Dietitian at Magee Rehabilitation Hospital Food Service Tour at Magee Rehabilitation Hospital Tour of Facility at Cathedral Village (Senior Living) Roles of Dietitian at Cathedral Village
5 日 目	Lecture: Interprofessional Education and Practice Lecture: Elder Care in US Closing Ceremony

@Cathedral Village

今回訪れた高齢者施設「Cathedral Village」は、日本でいう健康型老人ホームと介護型有料老人ホーム、シニア向け分譲マンション等を合体した施設で、米国ならではの規模と、高級感あふれる内装・設備に驚きました。栄養士は住人1人1人に充実した栄養管理を行い、さらに個別栄養指導や集団栄養指導を実施しているとのことでした。日本の高齢者施設では、栄養ケア計画書を用いた栄養管理が実践されていない所も多くあります。今後は高齢者施設でも高カロリー輸液や静脈栄養、経腸栄養など非経口栄養に対する需要も伸びてくると思います。本来の管理栄養士の資格を活かした仕事の領域が高齢者施設にも広がるべきだと改めて感じました。

野口医学研究所
管理栄養士 三宅 香連

@TJUH

(Thomas Jefferson University Hospital)

今回、RD研修に参加して最も印象的だったのは、野口と関わりが深いTJUHでの研修です。米国の管理栄養士は、臨床栄養の知識が豊富であり、専門性により分業化が成されている事にとても驚きました。また、セッション後には患者様を勇気づける為にピエロに扮したボランティアの方々（ホスピタルクラウン）にも会うことが出来、貴重な機会を得ることができました。入院患者を元気づける工夫や発想力は日本も見習うべき点が多いのではないかと思います。このような素晴らしい研修に参加出来たことを、心から感謝しています。

野口医学研究所
管理栄養士 平本 楓

賛助会員のご紹介

米国財団法人野口医学研究所は、国際医学交流の促進を目的とした活動を永年に亘り続けてきました。日本が生んだ世界的医学者・野口英世博士の偉大な業績を称えその遺志を受け継ぐためには、国際医学交流活動は不可欠であると考えています。当財団の「賛助会員制度」は、多くの方々にこの活動へのご理解とご支援を承る役割を果たしています。今回は、ソシオグループ様をご紹介致します。



人づくりと環境づくりで社会に貢献する

ソシオグループは今から約半世紀前の1965年、名古屋市で小さなガラス清掃会社からスタート致しました。以来、お客様からのご要望に、誠実と献身の心を持ってお応えし、またお客様からの信頼にも支えられ、私たちの事業は拡大してまいりました。私たちは、常に、“いまお客様が必要とされているサービスとは何か？”を問い続け、お客様の笑顔と感動を心の糧に、新しいサービスを創造し提供して参りました。現在は更に躍進し、「医師紹介事業」「医療関連サービス事業」「プロパティマネジメント事業」「海外人材サービス事業」を中心とした4つの事業を展開し、東京・大阪・名古屋の3拠点にて、4つのグループ会社で構成されています。

ソシオグループ

名古屋本社 〒460-0008愛知県名古屋市中区栄3-11-31 グラスシティ栄6F
TEL: 052-241-8782
東京本部 〒104-0028東京都中央区八重洲2-8-8 大星八重洲ビル8階
TEL: 03-6225-2250
大阪支社 〒531-0072大阪府大阪市北区豊崎3-19-3 ピアスタワー5階
TEL: 06-6292-2291

医師紹介事業

Doctor introduction business
(常勤・非常勤・スポット)

“豊かな人間力”を備えた医師を、より多くの医療機関様へご紹介します

【株式会社ソシオメディカル 医師紹介事業部】



医療関連サービス事業

Medical allied service

(中材室・OP室業務・環境整備・看護助手)

病院内の安心・安全をサポートする。
～医療現場を支えるパートナーとして～

【株式会社ソシオヘルスケア事業部】



プロパティマネジメント事業

Property management business

快適環境にこだわり続けた半世紀
～ひたむき・まじめ・誠実に～

【株式会社ソシオプロパティマネジメント事業部】



海外人材サービス事業

Overseas human resources services

即戦力となる海外技術者の紹介
現地有名大学の優秀な人材をご紹介！

【株式会社ソシオヒューマンリソース事業部】

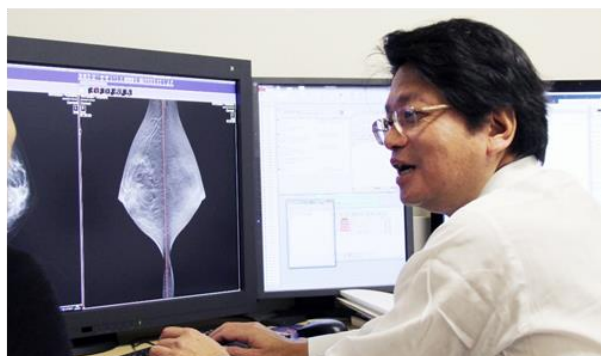


医療法人社団NIDC

野口記念インターナショナル画像診断クリニック

Noguchi International Diagnostic Clinic

- 主治医以外に意見を求めたい方に
「画像診断セカンドオピニオン」
- がんの早期発見に
「テロメスキャン®」
- がんの免疫細胞療法に
「BAK療法」
- 乳がんに対する不安に
「乳房専用のPET検査“PEM”」



是非一度ご相談下さい

お問い合わせは
「野口医学研究所」まで



**Facebook &
アメーバブログ**
よろしくお願いします。



いいね! & コメント

お待ちしております!



浅野嘉久

検索

NOGUCHI TIMES

Noguchi International Business Conference News Vol. 12

発行日 2016年3月24日
発行人 安東 恭助
発行所 米国財団法人野口医学研究所
編集 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13
電話 03-3501-0130
米国財団法人野口医学研究所 参与会
